

令和元年度 学校評価(職員アンケート) 集計表

領域	評価項目	主な観点	備考	令和元年度肯定的評価(%)	平成30年度肯定的評価(%)	前年比 ±5p以上	
確かな学力の育成	(1) 授業のユニバーサルデザイン化	①授業のユニバーサルデザイン化	どの子にとっても参加しやすく、わかりやすい授業が展開できている。	・学習問題、学習のめあて、まとめ、ふりかえり・板書の構造化	64	78	▲
		②学び合いを大切にした授業	児童相互の学び合いによる問題解決的な学習が展開できている。	・意欲をかきたてる学習課題の設定 ・話し合いの場の設定の工夫、コーディネート	64	89	▲
	(2) 多様な学習の場の設定	①個に応じた指導	児童の実態に応じて補充的な学習や発展的な学習を取り入れた指導がなされている。	・朝チャレ、チャレタイ ・個別指導、補充指導 ・個に応じた教材等の準備	92	100	▲
		②授業における図書館活用	言語活動を充実させるために、図書館を活用した授業を積極的に行っている。	・調べ学習 ・事典や辞典の使い方指導 ・関連読書 ・発展読書	92	90	-
	(3) 家庭学習の充実	①家庭学習習慣の確立	一人一人へのきめ細やかな支援により、家庭学習習慣の確立が図られている。	・子どもや保護者への啓発と個別支援 ・学習時間(15分×学年)の確保	75	60	○
自由記述欄	<p>○研究で授業のユニバーサルデザイン化について共通理解できたことはよかった。 ○授業の流れを示すこと、板書の構造化について、一度校内研修をしたことは一歩前進だった。さらに回数を重ねて徹底できるとよかった。 ○1年生と2年生について、放課後にサブリタイム(補充指導)をされていたことはすばらしい。 ○朝チャレを全校で行ったことはとてもよい。担当者の姿勢も子どもたちにより影響を与えている。 ○個別学習や放課後学習などの個に応じた指導により、学習に自信がもてる児童もいた。 ○授業のUD化、学び合い、多様な学習の場づくり、家庭学習の習慣づくり等の意識を共有できたことが有効だった。来年度は、これを活かす。 ▲家庭学習の習慣について保護者との理解や連携をとり、少しずつ取り組んでいく必要がある。 ▲国語、算数において学び合う機会が少ないため、集団で学ぶ機会を設ける必要がある。 ▲授業の流れの提示、板書の構造化について、教員によってはまだまだ徹底できていないのが現状。 ▲児童が学び合えるような話し合いのコーディネートが難しかった。 ▲個に応じた指導は、児童によって有効だった、もっと必要だったなど差があったと思う。(個人的に)児童の困りをできるだけなくすることができる指導の継続が必要である。 ▲学力向上としてなかなか取組ができなくて申し訳なかったです。県の学力調査の課題、改善点等、分析をしっかりとします。 ▲算数の力はついていっているので、国語の取組を取り入れていきたいです。チャレタイのあり方を見直していきたいと思っています。(学力向上として) ▲話し合いができるように指導をしていかないといけないと思います。高学年になったら代表委員会などで司会をすることが多くなるので、低学年から指導が必要だと思います。 ▲朝チャレ、チャレタイは、八川の子の算数の力を伸ばすのに役立っていると思うが、国語力のなさを考えるとこの時間を国語力アップに活用してもよいかと思った。 ▲個別支援の時間をどう確保していくか。</p>						
豊かな心の育成	(1) 心の教育の充実	①人権尊重のための環境づくり	教職員自らが人権感覚を高め、知識や指導技能を向上させるため取組が図られている。	・校内研修 ・隠れたカリキュラム ・掲示物や言語環境の整備	100	90	○
		②人権教育の推進	子どもたちは人権の尊さを理解し、自他を大切にしようとする心が育っている。	・人権週間 ・同和問題学習	83	60	○
		③考え、議論する道徳	多様な視点から語り合いながら、よりよい生き方を考える道徳の授業が展開されている。	・教材提示や発問の工夫 ・学習形態の工夫・体験活動との関連 ・年間時数の確保	67	50	○
		④教育活動全体を通じた道徳教育の充実	全ての教育活動において、子どもたちの道徳性の伸長を念頭におきながら指導している。	・道徳教育全体計画、別葉の整備 ・校内研修	50	75	▲
		⑤読書活動の推進	読書活動の充実のための取組が図られている。	・読み聞かせ ・朝読書 ・親子読書 ・環境整備 ・ストーリーテリング等	83	100	▲
	(2) 生徒指導の充実	①横田しぐさ7か条を基にした指導	子どもたちは学年に応じたふるまいが身についている。	・あいさつ、返事 ・話の聞き方 ・時間を守る ・感謝 ・思いやり ・掃除 ・履物そろえ	50	50	-
	(3) 自己肯定感の涵養	①夢や希望、高い志を育むキャリア教育の取組	夢やなりたい自分の姿を意識し、自分のすべきことをがんばろうとする姿勢が育っている。	・活動ごとの目標設定、ふりかえり ・地域の人とともに学ぶ活動	50	80	▲
		②校風を柱とした人的環境づくり	異年齢集団で様々な活動をする中で、思いやりの心や協調性、自主性が育っている。	・校風 ・毎日の掃除 ・かがやき班の活用した行事、活動	92	100	▲
	自由記述欄	<p>○横田しぐさの内容について、学校みんなのめあてとして、児童総会で話し合ったり、あいさつ運動などを委員会活動で行ったりするなど有効だった。 ○生徒指導充実のため授業中、授業以外でも挨拶、返事などについて指導をおこなった。 ○生徒指導担当が給食の時間等を活用してタイムリーな指導を行った。 ○毎朝、昇降口で声をかけながら子どもたちを迎えてくださった先生に感謝。 ○高学年から掃除の仕方を伝え、教えている姿が見られ、年度初めよりも丁寧に掃除をする児童が増えた。 ○高学年が、リーダーとして頑張ろうとする姿があった。高学年の頑張りや縦割り班活動もスムーズにいったと感じる。 ○キャリア教育を念頭に、また昨年度課題であった道徳科での指導を重視したことで、目標や振り返り、自己の姿について多くの子が意識するようになったと感じている。 ○校内研修が充実しており、学ばせていただく機会が多かったため、自身の意欲向上につながった。 ○時間いっぱい掃除をする姿が見られるようになった。 ▲今回、フットワークを計画したが、実施できなかった。来年度は、必ず実施したい。 ▲読書へ取り組む姿勢づくりができなかった。授業の時間を割くなどして読書の習慣づくりに取り組みたい。 ▲図書への貸し出し状況について、ときどき情報提供がなされるとよい。 ▲子どもの呼び方(さんづけ)が徹底できていない。特に特定の子どもへの「○○ちゃん」は、聞いていて違和感がある。 ▲道徳の年計別葉の整備。 ▲今後、全校の少人数で校舎全部を掃除することが難しくなるため、ローテーションにするなどの工夫が必要だと思った。 ▲挨拶や人権等について子どもは意識はしているので、どのような指導で向上させるかが今後の課題だと思う。 ▲子どもたちのふるまいで気になるのが、学校と地域で違うことである。いつでも、どこでも、誰にでも同じふるまいができるようになることよい。 ▲子どもの言葉遣いが気になる。大人に対する言葉遣いが気になる。 ▲地域で挨拶ができる子どもにするには、地域の力を借りる必要がある。どんどん大人に声をかけてもらい、明るい地域づくりを進める。 ▲自身の、あいさつや時間を守る指導が不十分だった。</p>					

すこやかな体の育成	(1) 体育科の指導の充実	①体育の時間の授業改善	体力テストの分析を授業改善に生かすことで、子どもの体力や運動能力を伸ばしている。	・握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び ・シャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ	83	100	▲
	(2) 体力づくりの推進	①青空タイムの指導	子どもたちは業間休みや昼休みに、意欲的に体を動かしている。	・業間マラソン ・縄跳び ・ロードレース	100	100	-
		②課外活動の指導	子どもたちは自分のめあてに向かって意欲的に陸上やホッケーの練習に取り組んでいる。	・陸上 ・ホッケー	100	90	○
	(3) 基本的な生活習慣の確立	①健康の保持・増進のための指導	家庭との連携を図りながら、望ましい生活習慣を身につけるための指導を進めている。	・早寝早起き ・朝ごはん ・メディア ・保健指導 ・学校保健委員会	67	90	▲
自由記述欄	<p>○青空タイムに業間マラソン、縄跳びなど児童とともに活動することで意欲を引き出すことができた。</p> <p>○以前に比べて子どもが廊下を走る姿が減った。粘り強い声かけのおかげだと思う。</p> <p>○ホッケー担当者には保護者も感謝している。</p> <p>○先生方の声かけをしていただいたおかげもあり、手洗いやハンカチの持参、マスク着用といった感染予防行動への意識づけはできている。</p> <p>○健康体育委員会を中心に、児童が主体的に取り組むことができるような指導を目指したことで、意欲的に運動に取り組む児童が増えてきていると思う。</p> <p>▲もう少し外で遊ぶ子どもが増えたとよい。</p> <p>▲メディア教育の推進。</p> <p>▲家庭との連携を取り児童のメディアの使い方について考える必要がある。</p> <p>▲家庭での歯みがきの取組、早寝といった生活習慣に課題があり、家庭と連携して子どもが主体的に取り組めるような指導が不十分だった。</p> <p>▲学校保健委員会は、1回の講演のみなので、事後指導や評価につながるような取組を検討する必要がある。</p> <p>▲学校は規則正しい生活習慣を身につけさせようと頑張っているが、家庭の協力を得ることが難しい。朝からゲーム、朝食なし、夜更かしなど保護者が注意しない現状がある。どうすると家庭とうまく連携ができるのか課題である。</p> <p>▲現状を考えると歯磨きの仕方より、歯磨きができる環境づくりを家庭といっしょに考えていかなければいけない。そのためには「1日の生活スケジュールづくり」などの学級活動をしてほしいかもしれない。</p> <p>▲学校保健委員会の研修が、PTA総務部の仕事となっているのは本当によいのか？違う内容の研修を望まれても学校保健委員会の縛りがある。</p>						
信頼される学校づくり	(1) 地域との連携による教育活動の充実	①地域ボランティアの活用	地域のひと・もの・ことを積極的に活用し、学習の充実を図っている。	・八川子ども文庫読み語り ・野菜作り ・米作り ・社会科見学、町たんけん	100	100	-
	(2) 幼小・小中・小小連携の充実	①幼稚園や他校との連携	幼稚園や他校との情報交換や交流を積極的に進めることで、教育活動の効果を高めている。	・幼小管理職会 ・幼小連絡会 ・小中連絡会 ・宿泊研修 ・修学旅行 ・保育体験研修 ・がっこうへいこう	100	100	-
	(3) 家庭と連携した指導・支援の充実	①家庭との連携	子どもたちのよりよい成長を目指し、家庭と緊密な連携を図っている。	・チャレンジ週間 ・授業公開 ・家庭訪問 ・連絡帳 ・電話連絡 ・地区PTA	100	100	-
	(4) 安心・安全な教育環境の整備	①安心・安全な教育環境の整備	安全点検や安全指導、避難訓練を計画的に実施し、安全な環境を整え、危機回避能力を育てている。	・安全指導 ・安全点検 ・避難訓練 ・緊急時対応体制の整備	82	100	▲
自由記述欄	<p>○職員の保育体験、年長児対象の「がっこうにいこう！」…よくやっていただき、ありがたかった。他の取組も併せ、幼小で一緒に子どもを育てていこうとする機運が高まった。</p> <p>○子どもの欠席時やけがをした時など、保護者への対応が丁寧だった。</p> <p>○幼稚園との交流(教員・児童ともに)が多く、連携が充実していると思った。</p> <p>○各担当が行事等の起案や振り返りをしっかり行ったことで、今後の取り組み方をじっくり考えることができた。</p> <p>○管理職を中心に職員室がとてもしっかりと働きやすいです。そのよい雰囲気は保護者にも伝わっているのではないかと思います。</p> <p>○「保育体験」も「がっこうへいこう」は、他の市町村、他県からも評価してもらいました。たぶん小規模校でしか取り組めないものだと思います。小規模校の先進的な取組として、子どもの発達の連続性を大事にして、取り組んでいけるといいと思う。先生方に理解いただき、感謝です。</p> <p>○今年度は、県特研の発表もあったので、幼稚園との連携が充実してよかった。</p> <p>▲地域との活動は、教育活動との関わりやねらいをもう一度見直す必要がある内容もあると思う。</p> <p>▲安全点検は、点検範囲がバラバラと点検していたので、少し点検しにくかったです。毎月あってもいいので、範囲を狭め、1回の点検に要する時間を短縮してはどうか。</p> <p>▲円滑に安全点検を行えるように工夫が必要であった。</p> <p>▲生活習慣チャレンジは毎回同じ項目でイベントのようにしているため、児童の実態に沿った項目を設定する等工夫が必要である。</p> <p>▲地域での自転車の乗り方、横断の仕方など危険な行動がみられる。安全教育が普段の生活につながるようにしたい。</p> <p>▲中学校との連携をどうしていくのが課題である。今年度は、収穫祭に中学校から来てもらったのでよかった。小学校に来てもらう回数を増やしたい。</p> <p>▲幼小中の連携については、保護者から見えにくい。「ブログで発信する」「行事の合同化」「PTA活動の連携」など目に見える形にしていくといいかもしれない。</p>						
その他	(1) 特別支援教育	①校内支援の体制整備と推進	コーディネーターを中心に校内の支援体制が整えられている。	・支援会議 ・語る会 ・幼小、小中連携 ・個別の教育支援計画 ・個別の指導計画	100	90	○
	(2) 学校運営	①校務分掌	適切な校務分掌により、組織的運営の円滑化と効率化が図られている。	・分掌部会 ・各種行事の起案、運営、反省 ・職員会議 ・職員朝礼 ・各種委員会	92	100	▲
		②各種会議、打合せ(職朝を含む)	情報の共有化が図られ、組織的な教育活動を展開する上で有効に機能している。	・職員会議 ・職員朝礼 ・各種委員会 その他打合せ	100	90	○
	(3) 総務関係	①文書管理	文書やデータの管理は適切に行われている。また、文書処理は期限内に適切に行われている。	・文書ファイル ・ファイルサーバー ・文書受付 ・稟議書	100	100	-
		②経理	集金や各種会計は校内規定に基づき適切に行われている。	・各種会計	100	90	○
		③PTA	情報発信に努めるとともに、保護者や地域からの意見・要望を学校運営に生かしている。	・PTA総会 ・地区PTA ・専門部会 ・民生委員との情報交換 ・各種会合	100	100	-
自由記述欄	<p>○会計を佐々木さんに一括管理してもらって、学級事務、図書館事務が大変楽だった。今後も事務の先生に一括管理をしていただくと、大変嬉しい。</p> <p>○各種会計を佐々木さんが一手に引き受けてくださったので、特に担任の先生方は助かったと思う。(ただし、このままのやり方がよいかどうかは、再度検討が必要。)</p> <p>○学級会計を一括でいただき、とても助かった。</p> <p>○校長室前の学期ごとの行事の掲示は、児童だけでなく教員も見通しを持ってよかった。</p> <p>○早めに起案を上げることで余裕を持って文書作成を行うことができた。</p> <p>○わからないことは素直に聞くことで自信を持って校務分掌をこなすことができた。</p> <p>○幼小連携が充実しており、身体測定やブラッシング指導、感染症流行時の情報共有を指導や次年度に入学する子どもの実態把握に活用することができ良かった。</p> <p>○幼小連携は、昨年に比べると充実したと感じている。今年度の取組をベースとして来年度以降も取り組むとよい。</p> <p>○児童の支援について困ったことがあるとすぐに相談にのってくれたり、支援体制をすぐ整えてくださったりして、担任としてとても安心して相談できて、ありがたいです。</p> <p>○CNIに大車輪のごとく動いてもらった。今後のことを考えると、CN1人では負担が大きすぎるので、CN同士の連携を図るとよい。</p> <p>○支援について、校内だけでなく、医療や町教委、SC、SSW、教育事務所などの関係諸機関と連携をとりながら進めることができた。なかなか顕著な成果は見られないが、適切な支援ができるよう考えていきたい。</p> <p>▲写真用の外付けHDDが壊れたのは痛かった。今後は定期的にバックアップをとるようにしましょう。</p> <p>▲文書管理(データ管理)…今年度HDDが故障しデータが損失したため、保存方法を再考する必要がある。HDD+BD等記録媒体を併用し保存する。</p> <p>▲デスクの上、棚の上いつまでも物を置きっぱなしにするのはやめたい。</p> <p>▲裏紙があふれてもったいない。職員会議の資料は裏紙で十分。</p> <p>▲次年度の学校行事の精選については、企画会などをもち、冬休み前か、3学期初めには話し合っておくといいのではないかと。</p> <p>▲行事が多いので取捨選択する必要があると思います。</p> <p>▲行事の位置づけ(収穫祭や学習発表会の代表委員会などの学年が持つのかなど)が明確になるとよいと思います。</p> <p>▲分掌部会を定期的にするとうい。年度当初の計画を見直し、修正していくことも大切だと思った。</p> <p>▲様々な子どもが増え、学校の支援体制をもっと整えるべきであったが、コーディネーターがうまくできなく反省している。</p>						